

■フジテレビアナウンサー

# 久慈 暁子

Akiko  
Kuji

「めざましテレビ」などの全国ニュースで  
キャスターとして活躍するフジテレビアナウンサーの久慈暁子さん。  
岩手県出身である久慈さんに、  
入社のきっかけや職業観、岩手の魅力に加え、  
高校生へのエールなどを語ってもらいました。

どんなことにも挑戦、経験することで  
自分の将来がみえてくるような気がします

—現在の所属部署、および担当されている  
番組を教えてください。

フジテレビの編成局アナウンス室に所属  
しており、「めざましテレビ」、「めざまし土曜  
日」、「バイキングmore」、「BS ニュース」を  
担当しています。

—入社のきっかけはどのようなものだったの  
でしょうか？

大学時代、モデル事務所に所属して芸能  
活動をさせていただいていた中で、サッカー  
番組の原稿を読む仕事をいただきました。  
そのときが初めての原稿読みだったのです  
が、声の表現の仕方次第で伝わり方がまっ  
たく違ってくることに気づかされました。そし  
て、その仕事をさせていただいたときにほめ  
られたのがすごくうれしくて。もっと研究して  
みたい、表現の幅を広げてみたいと考えた  
ことが大きなきっかけでした。

また、母も岩手でアナウンサーをしていた  
ので、その影響も大きかったです。入社にあ  
たって相談したこともあります。母はこの  
仕事をすごく勧めてきてネガティブなことは  
言われなかったです。後押しになりました。  
—大学時代はさまざまな芸能活動もされて  
いたと思います。最終的にアナウンサーを  
志望する決め手になったのはどんなことで  
しょうか？

雑誌のモデルをしていたときは、一瞬一  
瞬を切り取っていく魅力や流行などを発信し  
ていく魅力みたいなものを感じていました。  
でも私の場合は映像、動画での発信に奥

行きや幅の広さを感じるようになり、そうい  
う表現にもチャレンジしてみたいという気持  
ちが強くなっていったんです。それがいちば  
んの決め手かなと思います。

—まもなく入社5年目になりますが、会社  
の魅力はどこに感じていますか？

局によっていろいろらしいのですが、フジ  
テレビの場合はアナウンス室にデスクが固  
まっています。生放送という緊張感のある  
現場を終えて、デスクに帰ったときに非常に  
アットホームな雰囲気や穏やかに過ごせる環  
境なので、自然と同僚との距離も縮まるん  
です。先輩ともしごく仲良くさせてもらって  
いますし、休日もアナウンサー仲間と過ごすこ  
とが多いんですよ。そういった環境や雰囲気  
が良いところだと思います。

—アナウンサーとして仕事のやりがいをもど  
うなところに感じていますか？

インタビューを通してたくさんの方の人生  
に触れ、想いを発信できることにやりがい  
を感じています。先日、ある飲食店の社長さ  
んにインタビューをさせていただいたのです  
が、コロナ禍で東京都の大手飲食店は特に  
補償の面で苦しいという訴えを直に聞いて、  
それをテレビという大きなメディアで伝えら  
れるということはすごく重要なことですし、そ  
れができることにありがたさを感じました。

テレビというのは性別、年齢問わず、本  
当に幅広い世代の方にみていただけるもの  
だと思っているので、今、世の中がどうい  
った状況なのかということを自分が実際に取

材に行って、肌で感じたものを人に伝えられ  
るという素晴らしさがあると思います。

—今後の目標について教えてください。

テレビの前のみなさんと共感し、より楽し  
むことです。みなさんがテレビをみるときに  
というのは、情報を知りたいときや楽しみたい  
ときだと思うんです。それは何かに共感した  
いという気持ちが根本にあると私は考えてい  
るので、そのお手伝いをしたいですし、私自身、  
共感して物事を発信できたらいいなと思い  
ます。

—オフの日など、プライベートな時間はなに  
をされていますか？

家で海外ドラマや映画をみるのが好きで  
すね。新型コロナウイルスが流行して最近  
は機会が減りましたが、気分知れた同僚や  
友達とカフェなどでおしゃべりする時間も大  
好きです。

—仕事とプライベート、オンとオフの切り替  
えはどのようにされていますか？

それが難しいんですよね。ただ、私はお  
風呂に入るのが好きで、好きな入浴剤を入  
れたり、音楽をかけたり、アロマキャンドル  
をつけたりしながら、家で長い間浸かるのが  
リフレッシュになっています。

—大学時代から東京暮らしをされていると  
思いますが、一度離れたことでより鮮明に  
なった岩手の良いところ、魅力をどのように  
感じていますか？

たくさんあります。新幹線から降りたとき、  
思わず深呼吸してしまうくらいきれいな空

気。日本の四季を存分に感じられる豊かな  
自然。豊富な山海の新鮮な食材。心の暖  
かい人たちが近所にたくさんいること。岩手  
の良さは住んでいたとき以上に感じています。  
—最後に岩手県の高校生に向けた久慈さ  
んからのエールをお願いします。

高校生になる前を振り返ると、与えられて  
いたものをこなしていた感覚でした。でも、  
中学3年生から高校にかけて、英語のスピー  
チコンテストに出場し、その後姉妹都市交  
流でオーストリアを訪れたりもしました。その  
ころがちょうど高校生活以外の部分でもい  
ろいろ挑戦してみたいと動き始めた時期で、  
今考えればこの経験も「人に伝える」という  
今の職業につながっている気がするんです。  
なので、高校生みなさんには、「向いてい  
ないかも」「苦手だな」と思うようなことでも  
どんどん挑戦して経験してみしてほしいな  
と思っています。それがこれまで気づけなかつ  
た自分の可能性を見つけること、そして将来  
の職業にもつながるはずです。

私は小学生のころからずっとキャビンア  
テンダントになりたくて、その輩出率が高  
いことから青山学院大学に進学しました。  
でも、在学中にいろいろな挑戦、経験をさ  
せていただく中で、アナウンサーへの憧れ  
を抱くようになり、いろいろな支えもあって  
実現することができました。自分の可能性  
を自分で決めつけずに、チャレンジを繰り  
返すことで進みたい道がみえてくることもあ  
ると思います。

**profile** 久慈暁子(くじ・あきこ) ●1994年7月13日生まれ。奥州市出身。水  
沢高校卒業後、青山学院大学に進学。モデルなどの芸能活動を経て、2017  
年、フジテレビに入社する。編成局アナウンス室に所属し、今春で5年目。「め  
ざましテレビ」などの番組を担当している。